

仙台市科学館特別展「地球と地震 48 のひみつ」に協力しました（2019/7/20～8/25）

テーマ：災害科学コミュニケーション、子ども
 場所：スリーエム仙台市科学館（仙台市青葉区台原森林公園）

2019年7月20日～8月25日、スリーエム仙台市科学館にて特別展「地球と地震 48 のひみつ」が開催され、同特別展の中で、地球の構造や地震発生の仕組み、防災対策等に関する子ども向けパネル48枚が展示されました。災害科学国際研究所は同特別展に協力名義を付与し、また当研究所の大野晋准教授（災害リスク研究部門）、佐藤翔輔准教授（人間・社会対応研究部門）、森口周二准教授（地域・都市再生研究部門）、木戸元之教授・遠田晋次教授・福島洋准教授・岡田真介助教・川田佳史助教（災害理学研究部門）、佐藤健教授（情報管理・社会連携部門）が、各専門分野に該当する展示パネルの監修を行いました。

8月20日、岡田真介助教と広報室の中鉢奈津子特任助教・鈴木通江職員・小森光職員・福島愛子職員が科学館を訪問し、特別展の様子を見学しました。特別展の企画・パネル作成を担当されたスリーエム仙台市科学館学芸員の大津秀穂 指導主事のお話によると、夏休み期間中ということで多い日は約1,300名の入場者でにぎわい、パネルも熱心に読まれる方がおられるとのことでした。特別展では、パネルだけでなく、地震体験や工作、クイズなど子どもから大人まで防災に興味を持ってもらう仕組みが施されており、多くの市民でにぎわっていました。

なお、同科学館の常設展示として、当研究所教員と朝日学生新聞社が協働で作成した小学生向け災害科学解説パネルも展示中で、こちらはパネルを順次入れ替えながら2021年3月まで実施される予定です。



特別展の様子



特別展の様子（解説を読みながら体験）



朝日学生新聞社と協働作成した小学生向け災害科学解説パネル（左端）

文責：中鉢奈津子（広報室）

写真：小森光（広報室）